

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応、マンツーマンでの療育。一人ひとりの個性や特性を生かし、様々な支援を通して自己肯定感を高め、発達・成長を助長する支援を行っている。	児童の状況を多方面から把握・理解したうえで、一人一人に応じたプログラム作成、支援内容、実施を行っている。	楽しい支援内容に繋がるために、工夫やアイデアを出し合いながら職員同士が情報を共有し努力している。職員間の専門性を高めるために、積極的に研修や学習会、相談会などに参加している。
2	相談支援事業所や園などの保育施設、他事業所などの関係機関との連携に力を入れている。	保護者様やご利用者様に心配なことや困りごとがあった場合は、詳しくお話をお聞きし、保育施設や相談支援事業所、他事業所を含めた解決方法を見出す必要があれば積極的にご提案させていただく。	日頃より、ご利用者様や保護者様の様子によく配慮し、お気軽にお声がけいただける雰囲気心がけている。また、職員が独断で判断してしまうことが無いよう皆で話し合いながらよりよい判断や助言などができるよう協力している。
3	保護者様との関りや悩みに寄り添う。	送迎時に活動の様子をお伝えしたり、実際に療育現場を見て頂きながらお話をお聞きたり、相談を受けやすい雰囲気作りに努め、悩みに寄り添っている。	保護者様に寄り添ったお話ができるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用希望の方が多く、新規の方がなかなかご利用ができない場合があること。	特に早期の療育の大切さを知っていただき、年齢が低いときから支援させていただけるよう周知活動を行っていく。	これまで通り、保護者様にもご利用者様にもあたたかい環境を提供していきたい。成長し、無事卒業を迎えられるよう支援に力を入れ、空気が出たところをスムーズにご提供できるようにしていく。
2	体を動かす場合に狭さを感じるという声がある点。	知育課題や机上での活動では狭さは特に感じないものの、粗大運動の種類によっては狭さを感じることもある。	基準を満たしたスペースの建物ではあるものの、狭さを感じているという意見が聞かれるので、さらにスペースの利用の仕方など工夫が必要と感じる。同じ効果があるが別の粗大運動に変えるなど課題の調整や、パーティションや備品配置の工夫・改善をしていきたい。
3	地域でのイベントや他施設との関わり	個別療育を基本とした支援形態のため、機会をなかなか設けていない。	今後も必要に応じて、どのようなことであれば可能か検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

25名

回収数 25/25 (100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	2	特性を理解し対応してくださっています。	ありがとうございます。今後も一人ひとりの個性をしっかりと理解し、より良い支援をしていけるよう努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1	0	1	まだ始めたばかりでよくわからない。	これから適切な支援をご提供できるよう努めていきます。わからない点はお気軽にお聞きいただければと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	0	0	1	〃	〃
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	1	〃	〃
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1	〃	〃
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	3	〃	〃
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	3	1	4		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	6	3	6	研修会があったかわかりません。	研修などの情報提供は、掲示だけでは無く、必要に応じてお声がけも行っていくようにします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	0	1	0	その都度相談にのって頂きアドバイスもらっています。	これからもご利用者様やご家族様を支えていけるよう努めてまいります。いつでもお気軽にご相談ください。

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	8	10	あるかどうか分からないが、問題視はしていません。	保護者様のご意見など取り入れながら、必要であれば行っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	2	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・先生とよく会話をしているので。リラックスできていると思います。 ・いつも楽しみにしている様です。	ありがとうございます。リラックスして支援を受けていただきありがたいです。これからも安心した環境で、楽しい活動を提供できるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	0	0	「クラゼミ行くよ」と伝えると、ニコニコしています。	楽しみに来て下さり、感謝しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	・親では支援できないことを支援していただき、ありがとうございます。 ・大変満足しております。	ありがたいお言葉をありがとうございます。興味の幅を広げ、楽しい中に学びがあることがクラゼミの支援の特徴となっております。年齢が低ければ低いほど遊びの中での療育活動が多めに設定されています。成長をしっかりと把握しながら、今後も皆さんにご満足いただける適切な支援をご提供できればと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広く使えるように机の位置やパーティションで空間を区切るなどの工夫をしている。	広さの基準は満たしているものの、身体を動かす活動では狭く感じるため今後も工夫をしていく。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員同士も意見やアイデアが出しやすい環境作りに努めている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていないが、内部監査（社内）を徹底しており、実地指導も不備なく対応できている。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育支援の質向上のための定期的な研修が行われている。	今後も積極的に対応していく。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日または翌日に必ず行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	関係機関との連携がなかなか取れていないが利用者様も居るが、クラゼミが間に入れるよう努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		できているケースとできていないケースがある。	必要に応じてより多く相互理解を図れるように努めていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、情報共有の会議が行われた際に積極的に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会へ繋がるための連絡会を立上げ、定期的な会議や研修に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	助言やアドバイス等は必要に応じてさせていただいているが、ペアレント・トレーニングまでは行っていない。	必要度合いやニーズに合わせ、研修等を受けた職員で行いたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者、兄弟児同士の交流の機会は設けられていない。	現在は設けてはいないが、必要があれば検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			食事等提供無し。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		お便りの掲示や、SNS,ホームページ等で周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			